

平成18年度 第2回 コミュニティバス等検討委員会 会議録

日 時	平成19年1月11日(木) 14:30~16:00
会 場	北館4階 教育委員会室
出席者	副会長(会長代理) 土井 勉 委 員 亀田 吉信・坂本 登 ・海士 美雪・室井 明 下谷 富雄・濱田 士郎・徳満 文昭 事務局 行政経営課・道路課・国際航業株式会社
会議の公表	<input checked="" type="checkbox"/> 公 開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 部分公開
傍聴者数	0 人

1 議題

芦屋市の公共交通(バス)の現状

- ・アンケート調査内容について

2 内容

(1)開 会

正司会長欠席のため、土井副会長が会長代理。

(2)議 事

- ・前回会議の確認
- ・アンケート調査について
 - ・調査方法の概要

a 目的

市民の公共交通利用の現状・ニーズを調査することにより、本市の公共交通の課題を抽出し、路線バスなどの公共交通のあり方を明らかにするための基礎資料とすることを目的とする。

b 調査方法

調査地域： 芦屋市内全域

調査対象： 住民基本台帳に記載されている15歳以上の市民

抽出方法： 無作為抽出法(コンピュータによる抽出)

標 本 数： 2,000

配布・回収方法： 郵送法

調査期間： 平成19年1月22日(月)~1月31日(水)

そ の 他： 回収目標を概ね60%に設定。

回収状況により催告はがきの送付を予定

- ・アンケート調査表の設計趣旨
- ・アンケート調査内容

(3)その他(次回連絡)

上記の議事について説明を行い、以下の意見交換を行いました。

主な意見（○：委員/●：事務局）

【アンケート調査内容等について】

○設問が交通全般になっている。バスに限定して深く聴いたほうがよいのでは。
たとえば、乗り継ぎの不便さとか。

○お願い文(P. 1)について

「～これからの本市の公共交通のあり方を明らかにすることを目的としています」を、「地域にふさわしいバス交通のあり方」又は「路線バスを中心とした公共交通」にした方がよいのではないか。

●意見を参考に文言を再検討する。

○設問 2 - 1 について

「(バス以外からバスへの) 乗り換えが面倒」の表現

●「(鉄道とバスとの) 乗り換えが面倒」とする。

「路線が走っていない」の表現

●「路線がない」とする。

○設問 2 - 6 について(P. 4)

設問の順番を変更したほうがよい。

●設問 2 - 1 と設問 2 - 2 の間に移動。

○設問 2 - 2 について(P. 4)

バスダイヤの表現より時刻表の方がわかりやすい。

●「バス時刻」とする。

○Q2 市内バス交通の設問について(P. 4)

Q2 のバス交通については、2 - 1, 2 - 6 の組み合わせの中で利用頻度を聞いてはどうか。

●設問 2 - 6 の中で対処を考える。

○設問 2 - 5 の構成について(P. 5)

公共公益施設だけでなく民間の施設等も選択肢に入れたらどうか。

利用頻度別の状況を取るように。

施設への訪問頻度と利便性、その両方に答えられるような構成が望ましい。

利用目的別にグルーピングしたらどうか。

(余暇, 健康, 文化, 買い物, その他日常 等)

●4 列構成(グループ, 施設一覧, 頻度, 利便性)の画面設計を再検討する。

○設問 2 - 5 について(P. 5)

「～駅周辺」の表現はあいまい。

●「駅および周辺施設」とする。

○設問 2 - 6 について(P. 5)

「今よりも積極的にバスを利用すると～」としているが、「現在の利用状況」と「不満解消後の利用意向」の組み合わせで尋ねるほうがよい。

●設問と選択肢の文言を再検討する。

○Q3 タイトルについて(P. 6)

後に続く設問の中で「送迎」なども含むことがわかるような表現が必要。

●具体的に「送迎」や「家族などが運転」等の表現を入れるべきか再検討する。

○設問 3 - 6 について(P. 6)

【設問の意図】「環境問題のため車を控える意向」のレベルから聞く。

○Q6 の職業欄について(P. 8)

職業欄に主婦とあるが、項目立てする場合は「家事専従者」とすること。

●「家事専従者」とする。

【その他】

○督促される場合は、既に送付されておられるかたが不快感をもたないように文面には気をつけてほしい。

その他

次回： 平成19年3月16日（金） 9：30から

以 上